

NEW

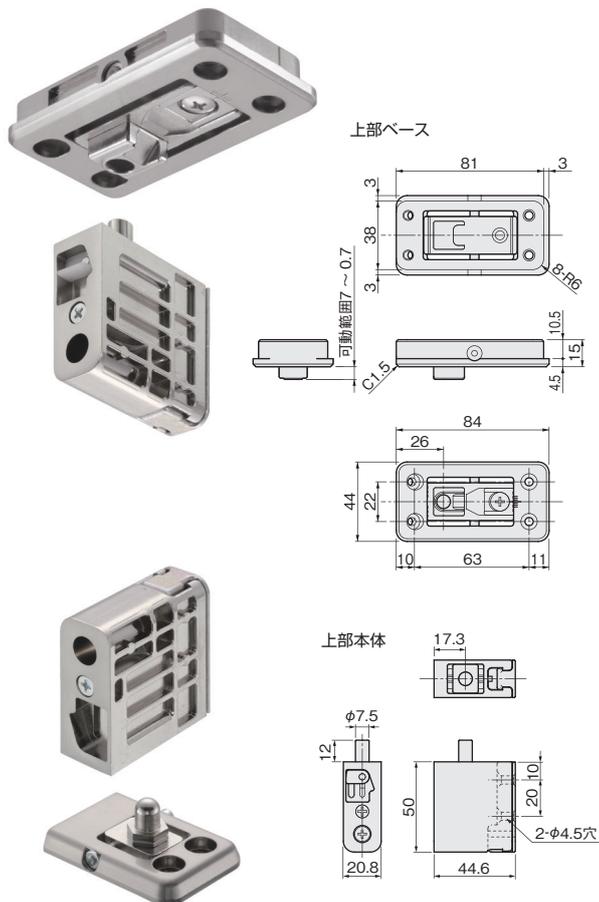
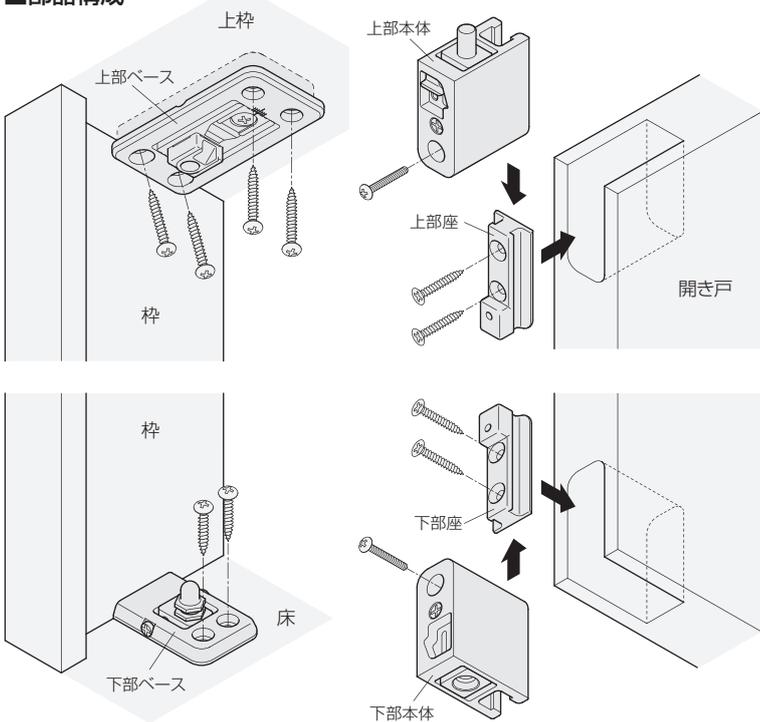
シークレットヒンジ SH-MT-010

使用条件

一般住宅屋内用木製ドア(浴室には使用できません)
 ※アームストッパーとの併用はできません。
 ◇対応ドア厚: 30mm~40mm ◇ドア質量: 総質量で40kg以下

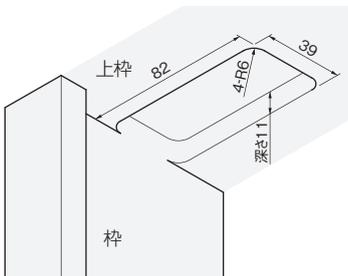
- 開き戸用のピボットヒンジです。
- 金具は開き戸の木口面に掘り込んで取付けるので、丁番が見えません。
- ピボット式で左右勝手がなく、また、開き戸を双方向に開くことができます。
- 調整は、上下、前後、左右の3方向に調整できます。

部品構成

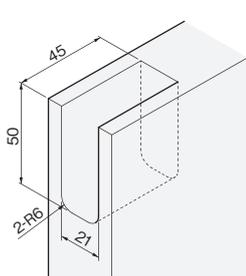


加工寸法参考図

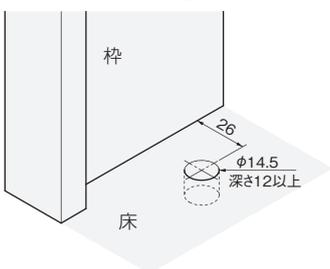
上部ベースの加工寸法



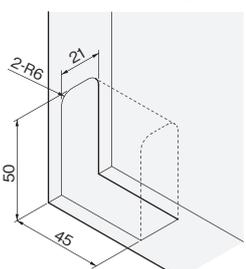
上部本体の加工寸法



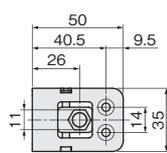
下部ベースの加工寸法



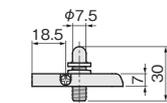
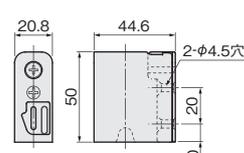
下部本体の加工寸法



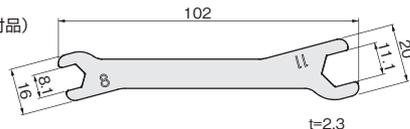
下部ベース



下部本体



専用スパナ(添付品)

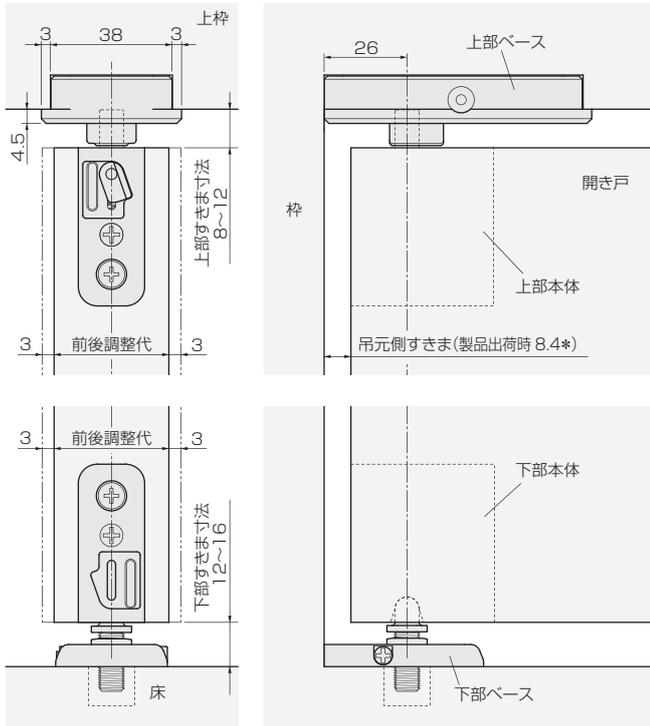


- [材 質] 亜鉛合金、他
 [仕上り] 上部ベース: WBメッキ
 下部ベース、上部本体、下部本体: WBメッキ
 [添付品] 上部ベース: +バインドタッピンねじ4×30 4本
 下部ベース: +バインドタッピンねじ4×20 2本
 上部本体: +皿タッピンねじ4×35 2本
 +トラス小ねじM4×14 1本
 下部本体: +皿タッピンねじ4×35 2本
 +トラス小ねじM4×14 1本
 専用スパナ

WBメッキ	価格(税抜)	¥22,000
	注文コード	299186
小箱入数		1セット
梱入数		10セット

設計ガイド

■金具の納まり参考図



●開き戸の高さ寸法の求め方

開き戸の高さ = 上枠と床の内寸 - (上部すきま + 下部すきま)*

* (上部すきま + 下部すきま)の寸法を24mmに設定すると、最大で4mmの開き戸の上下調整ができます。

●ご注意 開き戸の高さ寸法算出時のご注意

- 上下のすきま寸法は、上と下の最小値どうしを足した寸法 (=20mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法 (=28mm) に設定しますと、開き戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
- すきま寸法は、枠や床のたわみや、開き戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

●吊元側すきま寸法=A

●ご注意

* 上部本体と下部本体の初期設定は吊元側すきまが8.4mmになるため、戸厚が36mm以上の場合にそのまま開き戸を回転させると枠に干渉します。下表を目安に、戸厚に応じて吊元側すきまの調整をしてください。

戸厚	A
30	7~11.4
33	8~11.4
36	9~11.4
40	10~11.4

* 回転軸の中心が上下ですれると、開き戸が自然に開いてしまう場合があります。金具取付けの際はご注意ください。

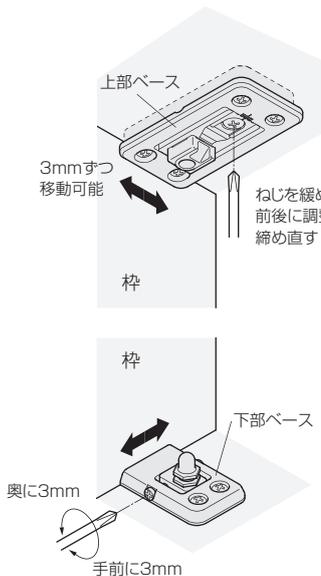
■開き戸の位置調整

●前後調整

上部ベース：前後調整固定ねじを緩め、適正な位置に調整後、締め直します。
下部ベース：枠に向かって左側面にある調整ねじを回します。

●ご注意

インパクトドライバーは使用しないでください。

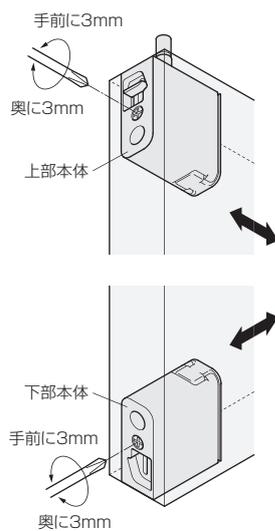


●左右調整

上部本体と下部本体の、木口面にある調整ねじを回します。

●ご注意

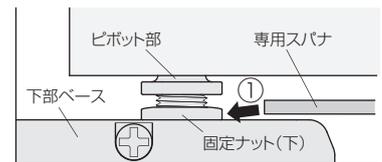
インパクトドライバーは使用しないでください。



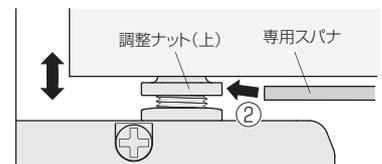
●上下調整

下部ベースのピボット部の調整ナット(対辺11mm)を、専用スパナで回します。

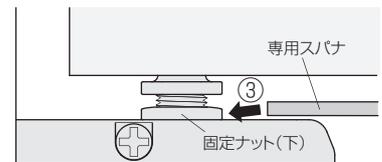
①固定ナット(下)を緩めます。



②調整ナット(上)を回し、上下調整をします。



③固定ナット(下)を締め付けます。



〈ご注意〉 ●製品は予告なしに仕様変更する場合があります。 ●商品選定の目安として製品性能を記載しておりますが、あらゆる使用状況を保証するものではありません。

住まいの飾り職人
アトムリビンテック株式会社

本社
〒110-8680
東京都台東区入谷1-27-4
TEL.03(3876)0600(代表)

特販事業部 TEL.03(3876)0603
卸売事業部 TEL.03(3876)0602
アトムCSタワー TEL.03(3437)3673

札幌営業所 TEL.011(748)3113
前橋営業所 TEL.027(223)2651
大阪事業所 TEL.06(6821)7281
広島営業所 TEL.082(291)4235